



高梁市在宅医療・介護連携推進会議 第2回 多職種連携会議

おかざき ゆきとも
岡崎 幸友 准教授(吉備国際大学社会福祉学科)

高梁市内の医療・福祉・介護の連携をさらに推進するために、10月21日に高梁総合文化会館で2回目の多職種連携会議が開催されました。

今回は「わたしたちはどう繋がれているのか」を、メインテーマに、市内に勤務する医療、福祉、介護職を中心に70人を超える専門職が出席し、その中で、「高梁版情報共有書」について、使い方などを話し合いました。

高梁版情報共有書とは、病院、診療所、訪問看護ステーションおよび居宅介護支援事業所などの**医療、介護サービス提供の間で双方向に情報共有**を行い、患者家族の生活の質の向上を図るための書類です。

9つのグループに分かれて高梁版情報共有書の使い方や実際の運用、また、利用するメリットなどについてグループ内で話し合いを行いました。その後、グループ内で出た意見の発表があり、「書式が決まっているので、必要な情報が見つけやすくなりやすい」、「入退院時にケアマネージャーとの情報共有に活用している」といった積極的な意見が多くでました。

この高梁版情報共有書をさらに使いやすくするために、どの様な情報が必要なのか等、実際に現場で役立つような様式の校正についての意見交換が行われるなど、活発な討議の時間でした。

質の高い支援を迅速に提供するためには、利用者が必要としているサービスや既往歴などを前もって理解しておくことが重要となります。「情報の共有」という古くて新しい課題に、**医療・福祉・介護の多職種の専門職が丸となって**取り組んでいる姿勢から、更に安心感を抱くことができました。

☎ 医療連携課 ☎(21)0304



成羽病院通信

☎ 成羽病院 ☎(42)3111

待ち時間を「こだまカフェ」で癒して

成羽病院で月に2回、喫茶コーナー「こだまカフェ」が開かれています。

これは、NPO法人(特定非営利活動法人)ハピネスたかはし会が開設している「こだまの集い作業所」の皆さんによる地域貢献活動で、美味しいコーヒーやクッキーを無料でサービスしているものです。

病院での待ち時間は何かと杞憂なものですが、そんなひと時を、心のこもったおもてなしで癒してみたいかがでしょうか。お知り合いの方と一緒に、きっと楽しい時間になることでしょう。

日時：毎月第2・第4月曜日 午前10時～正午
場所：成羽病院1階多目的ホール(待合ホールの西)

また、「こだまの集い作業所」の皆さんは、週1回、病棟でのゴミ袋作りや、車椅子の掃除、窓拭きなどの軽作業にも従事してもらっています。

成羽病院では、今後もこうした就労の場の提供等を通じて、自立支援の活動を行っていきたいと考えています。



成羽病院 事務局